平成３０年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

Ⅰ　スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
Ⅱ　マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
Ⅲ　スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
Ⅳ　日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
Ⅴ　スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【　　】

１実践テーマ	【　　Ⅴ　　】
２実施対象者	高等部生徒 中学部生徒 教職員
３展開の形式	（１）学校における活動 ①（教科名（　保健体育　）） ②（行事名（　　）） ③（その他（　　）） （２）地域における活動 ①（イベント名（　　）） ②（その他　（　　））
４　目　標 （ねらい）	２０２０年オリンピック・パラリンピック競技の開催地として多様な文化を受け入れ、人々が互いに人権を尊重し合い、共生社会の実現を目指ため、障がい者スポーツの体験学習及び実技講習会を実施し、理念を具現化する。
５　取組内容	ボッチャ体験
６　主な成果	生徒たちは、ナショナルチームのコーチの教えということもあり、ボッチャの楽しさを味わいながら、意欲的に学習活動に取り組むことができていた。 教員研修においては、ボッチャのルールややり方などを知ることができた。
７実践において工夫した点 （事業の特色）	・中学部生徒と高等部生徒を対象に体育の時間において、実技研修を実施した。（2月５日実施） ・教員にむけた講習会の実施
８主な課題等	・知的障がいの特別支援学校ではどのような内容で進めていくのか ・講師は誰にするのか。手配はどうするのか ・小中高のどの学部で実施するのがよいのか ・学校全体での取り組むための手立てはどうあるべきか。 ・２年目ということで、年度当初から計画的に進めていけるようにしていく。
９来年度以降の実施予定	・引き続きボッチャでの研修を考えている。また、通常中学校との交流学習の中で障がい者スポーツへの取り組みと障がい者理解と題して交流学習を進めていく。